

南すおう地区における たまねぎの生産拡大

柳井農林事務所 農業部

中野良正* 青木博幸 藤村寿祐



法人の経営複合化による経営安定を図り、
県産たまねぎの需要に応えるために...



28年産：300t（柳井農林管内）
を目標に生産拡大しましょう！！

推進

機械がないけど
どうやって
作業するの？

機械導入を
支援します

出荷調製が
結構大変で
労力がかかる

集出荷貯蔵施設を
整備します

単収が低く
生産が安定しない

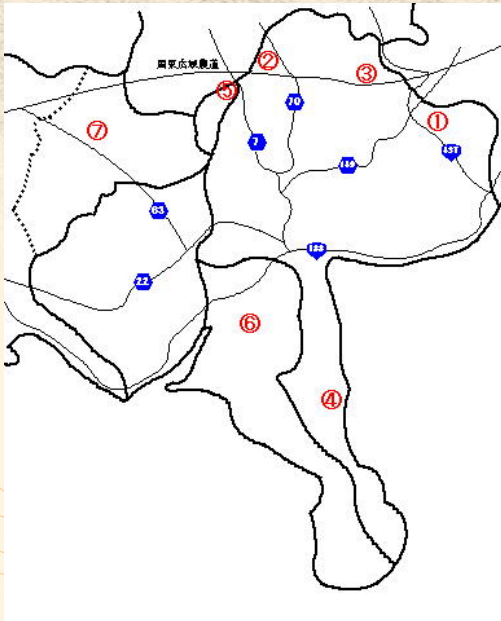
機械化技術体系を
確立します

価格が安くて
もうからない

契約栽培で価格を
確保します



南すおう地区のたまねぎ生産組織



<柳井農林管内>

柳井市

① A

② B

③ C

④ D

田布施町

⑤ G

平生町

⑥ E

<周南農林管内>

光市(大和地区)

⑦ F

普及活動の課題

- (1) 面積拡大に向けた機械・施設整備
 - 計画的な機械導入と利用体制の整備
 - 集出荷貯蔵施設の整備と運営体制の構築
- (2) 安定生産に向けた技術・労力体系の確立
 - 機械導入に合わせた技術体系の確立
 - 作業補完の労力体系の確立
- (3) 価格安定に向けた販売体制の確立
 - 計画的な出荷体制の確立
 - 契約栽培による販売体制の確立

普及活動の内容と成果

(1) 面積拡大に向けた 機械・施設整備

機械化体系の主要機械



ブロックごとの機械整備状況

23年度「企業と協働した地域農業活性化事業」

24年度「やまぐち集落営農生産拡大事業」

ブロック	組織名	26年産作付 予定面積(a)	台 数						
			畝立て マルチャー	移植機	収穫機	ピッカー	運搬機	仕上機	選別機
東部	A	297	1	1 (半自動) 1 (全自動)	2	1	1	1	1
中部	B	10	1	1 (半自動)	1	1	1	1	1
	C	36							
	D	6							
	E	20							
西部	F	135	1 (26予定)	1 (半自動)	1		1	1	1
合計		504	3	4	4	2	3	3	3

: ブロックごとの拠点法人

現状整備機械による作業可能面積

○定植 ⇒ 9.4ha

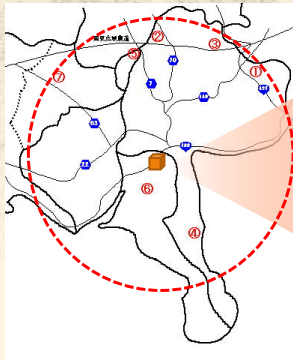
全自動移植機：1台
半自動移植機：3台
期間：11月中～下旬

○収穫 ⇒ 6.6ha

収穫機：4台
ピッカー：2台
期間：5月上旬～6月上旬

概ね7haまで
作付拡大可能
(H26年産：5ha)
※大和分含む

集出荷貯蔵施設の概要



宇佐木準低温米倉庫(平生町)

25年度「需要対応型産地育成事業」

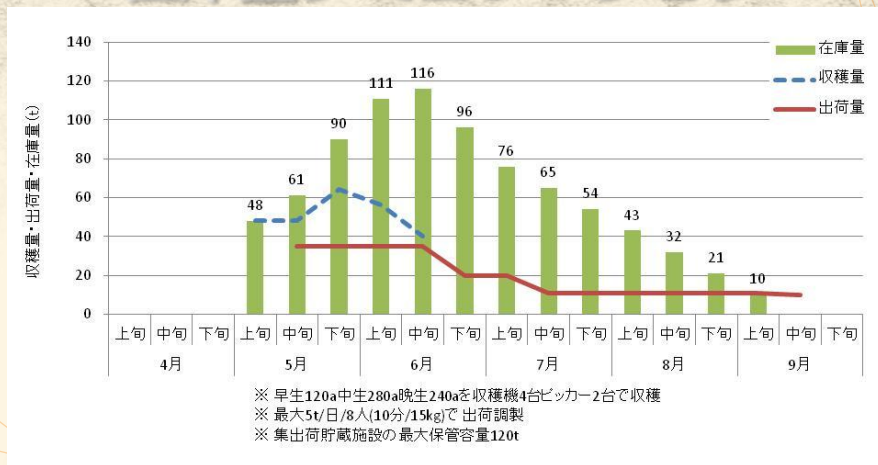
<施設概要>

既存施設(事務室+冷蔵保管): 489m²
 新施設(出荷調製作業): 199m²
 保管容量: 約120t
 冷蔵能力: 温度16℃、湿度67%

<付属機械等>

除湿機: 1台
 仕上機: 2台
 選別機: 2台
 製箱機: 1台
 コンテナ: 4,000個

集出荷貯蔵施設の 在庫量シミュレーション



6. 4ha分まで荷受け可能 (H26年産: 5ha) ※大和分含む

普及活動の内容と成果

(2) 安定生産に向けた 技術・労力体系の確立

機械化体系における 作業上の注意点の徹底

<機械化体系で失敗しやすいこと>

不十分な排水対策 ⇒ 適期作業ができない

圃場準備の遅れ ⇒ 定植遅れ

形状の悪い畝立て ⇒ 定植精度の低下



◎排水対策の徹底

◎圃場準備の前進化・短期集中化

機械利用研修会の開催



仕上機・選別機研修会(H23)



収穫機・ピッカー研修会(H24)



メンテナンス研修会(H24)

【機械使用実績】※柳井管内のみ

○25年産

収穫機・ピッカー:3/6組織

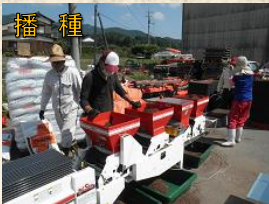
仕上機・選別機:6/6組織

○26年産

移植機:4/5組織

大規模法人における作業省力化

<セル苗+全自動移植機の作業体系>



<作業時間の比較(H24調査)>

作業名	播種・育苗管理	苗調製	定植	計
①セル苗+全自動移植機	3.7	1.1	6.7	11.5
②地床苗+半自動移植機	4.7	39.4	9	53.1
*削減率(%)	21.3	97.2	25.6	78.3

* (②-①) / ②%

労力補完体制の試行

23年度、24年度「企業と協働した地域農業活性化事業」

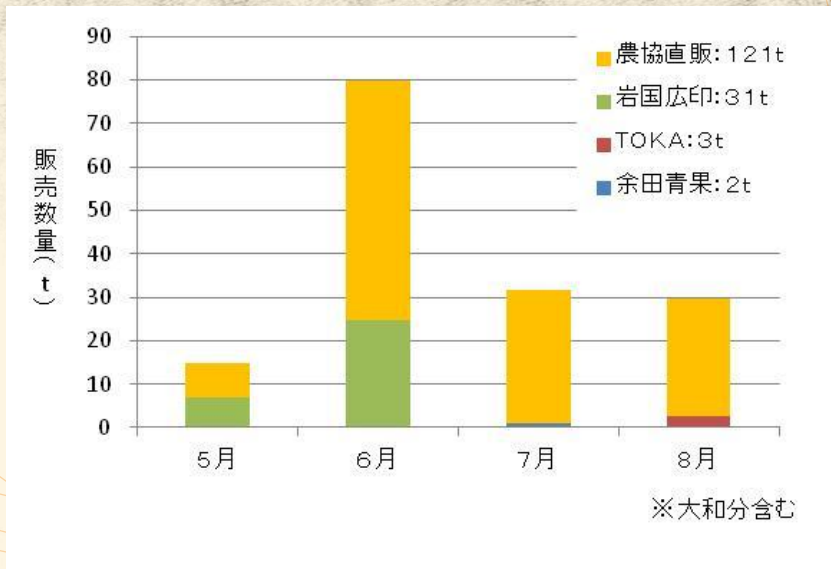
委託者	受託者	作業内容	作業時間	
			実績	県指標
A G	H I (建設業者)	施肥、畝立て、マルチ	5.3	1.3
		*定植	5.6	16.7
		薬剤散布	0.9	0.2
		収穫、運搬	21.8	17.5
G	J (社会福祉施設)	苗調製	50.0	9.4
		出荷調製、箱詰め	150.0	72.0

*実績は全自動移植機、県指標は半自動移植機

普及活動の内容と成果

(3) 価格安定に向けた 販売体制の確立

H25年産たまねぎ出荷先別販売実績



CGCとの契約栽培

※ CGC: 中小スーパーマーケットの協業組織

<25年産契約概要>

作型	中生、晩生
規格	S~2L
価格	2L: 71 L: 86 M: 81 S: 60
要件	エコ50基準に準じた栽培



CGCと関係機関との協議

【25年産出荷実績】

	CGC契約	共販全体 (キュービー分除く)
組織数	4	7
出荷量 (t)	38	146
平均単価 (kg/円)	80	63

※大和分含む

CGCとの契約概要

	25年産	26年産(協議中)
出荷量	70t	50t
作型	中生、晩生	早生も検討
規格	S~2L	同左 ※2Lは3割を上限とする
価格	2L:71 L:86 M:81 S:60	同左(6~8月) ※早生は事前決定できない
要件	エコ50基準に準じた栽培	エコ50認証 GAPの試行

今後の普及活動に向けて

たまねぎの出荷量と栽培面積の推移



再び生産拡大に向けて

